

交野市教委ニュース

第30号 (平成27年8月28日発行)

自分たちの学校をよくする中学生の活動

8月25日(火)、ゆうゆうセンター体験学習室で、市立4校の生徒会執行部の生徒が集まり「交野市立中学校執行部交流会」が開催されました。

これは、1. 他の中学校の現状や取組みを知り、話し合いを通じ学校を更によくする、2. 交流を通し、考えや視野を広げることで自らの成長に繋げ、自主・自立をめざす、3. 交野市の生徒会活動の活性化に繋げる、との目的で毎年開かれています。

今年度の内容は、第1部が各校の生徒会活動の報告と発表、第2部が「委員会活動」についてのグループディスカッションでした。

第1部では、各学校の執行部がパワーポイントや動画で、独自の取組みを簡潔にそして分かりやすく、なかには楽しく笑いも交えて発表していました。合唱隊の取組み、熱中症予防のCM、生徒集会の整列賞、小学生の体験授業の案内役など、他校の取組みを聞いた後の適確な質問と真剣な回答、熱心さが伝わってきました。

第1部終了後には、兵庫県立大学の竹内和雄准教授から講評をいただきました。竹内先生は、他の市町村でも生徒会活動の助言をされていますが、交野市の生徒会執行部の活動は大変レベルの高い素晴らしいものだと、ほめていただきました。また、スマートフォンの利用等、各学校の課題にあわせた活動をしたらどうかとも助言をいただきました。

第2部は、「〇〇な学校にするための委員会活動とは？」とのテーマで、学校の枠を外した6～7名のグループを作りディスカッションをしました。活発な議論が交わされ、そのあと、グループごとに発表をして意見交流をしました。

改正公職選挙法の成立により、18歳から選挙で投票できることになり、中学を卒業して3年後には、公民として自分で判断する能力が必要になります。こうした生徒会を通じた日々の活動も、良き市民、良き公民の形成につながるのだと感じます。

そして、これらの生徒会活動を指導いただいている、校長先生はじめ生徒会指導担当教員の皆さんに、感謝します。

交野市立中学校執行部交流会 第一部



交野市立中学校執行部交流会 第二部

